

2018年度 第2回 11月名大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

①「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

1) _____部分は必須キーワードであり，この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。

2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

3) 「②（①の説明として）」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。

問題 I (50点)

問1(1) 各2点

(a) 正/直 (b) 南緯 60度/南緯 60° /60° S ※「60°」のみは×

問1(2) 6点 [指定語句] 方位 正距 ゆがみ (下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

中心からの方位が正しいが、図周辺部のゆがみが大きく、正積ではない。極中心の場合、同一緯線上のみ正距となる。

【加点ポイント】

①中心からの方位が正しい/中心からは正方位である →2点

※「方位が正しい」のみでは加点しない

②・図周辺部はゆがみが大きい/中心付近はゆがみが小さい

／図周辺部は急に縮小されゆがみが大きくなる

・正積ではない

・正距ではない

・正角ではない

・極中心の場合、同一緯線上は正距となる

・中心点から 90° の半球までしか表せない

1つ2点

4点まで

問2 5点 (完答) ウ, オ

問3(1) 各2点 (c): 新期 (d): 西 (e): 火山

問3(2) 8点

南極大陸は厚い大陸氷河に覆われているために平均標高が 2000m台ときわめて高く、新期造山帯の分布しないオーストラリア大陸の最高標高と同程度である。

【加点ポイント】

① (南極大陸は) 平均標高がきわめて高い/平均標高が約 2000m (2200m) }
／最も平均標高が高い大陸である } →2点

② (①の理由として) 大陸氷河 (氷床) に覆われている →2点

③ (ア・イの大陸=オーストラリア大陸は)

最高標高が南極大陸の平均標高と同程度/最高標高が約 2000m (2230m) →2点

④ (③の理由として) 新期造山帯がない/安定陸塊と古期造山帯のみである →2点

問4(1) 各2点 (f) 内的営力/内作用 (g) 太陽 (h) 外的営力/外作用

問4(2) 6点

海溝型地震は、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む境界で発生し、その多くが津波を伴い海岸部に被害を与える一方、直下型地震は、内陸部の活動層がずれ動くことで発生し、地震の規模は比較的小規模だが、都心部で建物の倒壊などの被害を与える。

【加点ポイント】

① (海溝型地震の発生場所として)

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むところ →2点

(※「プレート境界」「プレートの狭まる境界」など

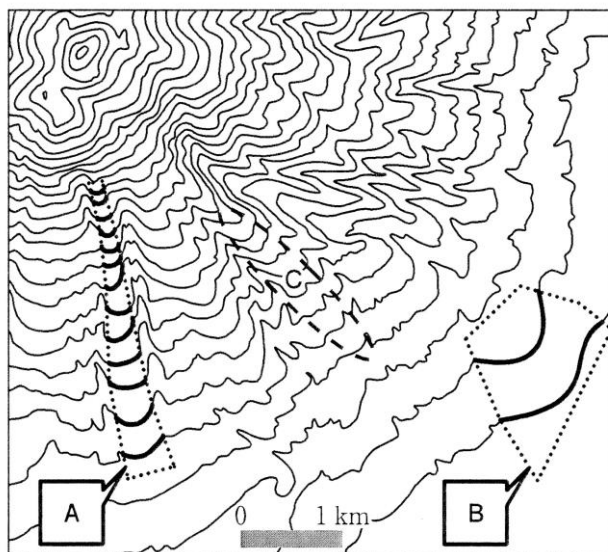
海洋プレートと大陸プレートの上下関係がない・間違ったもの →1点)

② (海溝型地震の被害として) 津波による被害 →1点 ※「津波」のみで○

③ (直下型地震の発生場所として) 内陸部の活断層 →2点 ※「断層」のみで○

④ (直下型地震の被害として) 建物の倒壊/道路(鉄道)の断裂/土砂崩れ/山崩れ →1点

問5(1) 作図 A:3点 B:3点



【加点ポイント】

A・Bとも、①②両方が描けていて3点

A: ①同じ標高の線同士を結んでいること (全13本)

②結ぶ線が下向きに凸の曲線であること (ほぼ直線も可。上むきの凸があれば×)

B: ①同じ標高の線同士を結んでいること (全2本)

②結ぶ線が下向きに凸の曲線であること (ほぼ直線も可。上むきの凸があれば×)

問5(2) 3点 スキー場/スキーリフト/リフト

問題Ⅱ (50点)

問1 7点

結成当初はインドシナ半島に台頭する共産主義勢力に対抗することを目的としていたが、現在は加盟国間の経済面や文化面での協力を目指している。

【加点ポイント】

- ① (結成当初の目的として)
- | | | |
|-------------------------------------------------------|---|-----|
| 共産(社会)主義勢力に対抗する／共産(社会)主義の拡大を防ぐ
／反共産主義で結束する／軍事同盟である | } | →4点 |
|-------------------------------------------------------|---|-----|
- ② (現在の目的として) 経済面の協力／加盟国の経済発展(貿易拡大)／文化交流 →3点

問2 各2点 ア：AFTA イ：AEC

問2 特徴 7点

域内関税は撤廃するが、EUのように共通通貨や共通の域外関税を導入したり、労働力の移動を自由化したりはせず、各加盟国の自主性を重んじた結束を志向している。

【加点ポイント】

- ① (AECの特徴として) 域内関税の撤廃／域内関税の引き下げ →2点
- ② (AECの特徴として) 各加盟国の自主性を重んじる／EUよりゆるい結びつき →1点
- ③ (EUとの違いとして)
- | | | |
|-----------------------------------------------------------------------|---|--------------|
| ・(ユーロのような) 共通通貨を導入しない
・共通域外関税は導入しない
・(シェンゲン協定のような) 人の移動の自由は認めない | } | 1つ2点
4点まで |
|-----------------------------------------------------------------------|---|--------------|

問3 各1点

- ① シンガポール ② マレーシア ③ タイ ④ フィリピン
⑤ インドネシア ⑥ ブルネイ ⑦ ベトナム ⑧ カンボジア

問4 7点 [指定語句] 減免 コスト 集約的 (下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

税金が減免される輸出加工区を設けたことで、低いコストで労働力や土地を得たい外国資本の進出が進み、労働集約的な組立工業が成長した。

【加点ポイント】

- ① 外国資本を導入した／外国(先進国)の企業を誘致した →2点
- ② (①の背景として) 輸出加工区を設けた →1点
- ③ (②の特徴として) 税金(関税・法人税)が減免される／税金の優遇措置がある →1点
- ④ (①の背景として) 低コストの労働力／労働力コストの削減／低い賃金コスト →2点
(※低コストの土地／コスト削減など「労働力のコスト」に触れていなければ1点)
- ⑤ (結果として) 労働集約的な工業が立地した／組立工業が立地した
／輸出指向型工業が発達した } →1点

問5 8点

タイは、緑の革命により灌漑の整備と高収量の乾季稲作の導入が進み、二期作が普及した。
ベトナムは、ドイモイ政策による市場経済の導入で農民の生産意欲が向上した。

【加点ポイント】(★国名が無いまたは間違っていたら加点しない)

- ① (タイについて) 緑の革命による →2点
- ② (タイについて) 高収量の米を導入した →1点
- ③ (タイについて) 二期作が普及した →1点
- ④ (ベトナムについて) ドイモイ (政策) →2点
- ⑤ (ベトナムについて) 市場経済の導入 →1点
- ⑤ (ベトナムについて) 農民の生産意欲が向上した →1点

問6(1) 2点 棚田

問6(2) 7点

ルソン島、ジャワ島、バリ島など、人口稠密で米の消費量が多いものの、急峻な山地が多く、水田の立地に適した平野が少ない地域に多い。

【加点ポイント】

- ① 山地が多い／平野が少ない →3点
- ② 人口稠密／人口密度が高い／人口が多い／米の消費量が多い →2点
- ③ (具体的な地名として) ルソン島／ジャワ島／バリ島 →2点

問題Ⅲ (50点)

問1(1)名称 2点 プライメートシティ/プライメイトシティ (※「首位都市」は×)

問1(1)理由 4点

所得の少ない発展途上国では、植民地時代の政庁所在地などの中心都市に投資が集中する一方、人口爆発が起きた農村からその中心都市に就業機会を求める大量の人々が流入してくるから。

【加点ポイント】

- ① (これらの国は) 発展途上国である/かつて植民地であった →1点
- ② (①について) 中心都市に投資が集中する/一つの都市だけが発展する }
/複数の都市が発展する経済力がない } →1点
- ③ (プライメートシティに) 農村(地方)から人口が流入する →1点
- ④ (③の理由として) 就業機会を求める/就業機会が多い/働くため →1点

問1(1)アジア③ 各2点 国:インドネシア 都市:ジャカルタ

問1(1)アフリカ① 各2点 国:ナイジェリア 都市:ラゴス

問1(2) 6点

アフリカは都市人口率が4か国とも50%未満であるが、南アメリカは都市人口率が4か国とも75%以上である。アフリカでは工業化が遅れており、人口爆発の起こった農村の人口が未だ多いが、南アメリカはヨーロッパからの移民が沿岸部に集住して形成された都市に、以前から人口が集中していた。

【加点ポイント】

- ① (アフリカは) 都市人口率が低い(50%未満) →1点
- ② (アフリカは) 工業化が遅れている/都市の産業が未発達/農村の人口が多い }
/主産業が農業(第一次産業)である } →2点
- ③ (南アメリカは) 都市人口率が高い(75%以上) →1点
- ④ (南アメリカは) ヨーロッパからの移民(白人)が都市をつくって集住した →2点
- ※ (①③を合わせて、「アフリカより南アメリカの方が都市人口率が高い」 →2点)

問1(3) 各2点

アジア④ 国:パキスタン 都市:カラチ

北中アメリカ① 国:アメリカ合衆国 都市:ニューヨーク

オセアニア① 国:オーストラリア 都市:シドニー

問1(4) 2点 デリー (※「ニューデリー」は△1点)

問1(5) 各2点 記号:イ 首都:キャンベラ

問題IV (50点)

問1(1) 9点

太平洋岸からロッキー山脈に至るまでの大陸西部は、標高が高い新期造山帯に属する地域である。ロッキー山脈を越えると、大平原グレートプレーンズやプレーリーとよばれる草原地帯、ミシシッピ川が流れる中央平原などの低平な安定陸塊となる。大陸東部は、低くてなだらかなアパラチア山脈を含む古期造山帯に属する地域である。

【加点ポイント】

- ① (Xに近い太平洋岸から) 新期造山帯が分布する →1点
 - ② (①の山脈として) ロッキー山脈/シエラネヴァダ山脈 →1点
 - ③ (①の特徴として) 標高が高い/高峻な/険しい →1点
 - ④ (①の次に) 安定陸塊が分布する →1点
 - ⑤ (④の地名として) グレートプレーンズ/プレーリー/中央平原 →1点
 - ⑥ (④の特徴として) 低平な/平原/平野/低地 →1点
 - ⑦ (④の次に/大西洋に近いところに) 古期造山帯が分布する →1点
 - ⑧ (⑦の山脈として) アパラチア山脈 →1点
 - ⑨ (⑦の特徴として) なだらか/低い山地/侵食を受けた山地/高原状 →1点
- (※全体を通して ①の途中の盆地や⑦の後に平野が分布する等の記述があっても可)

問1(2) 各3点 c : ② e : ③

問2(1) 4点

出荷前の肉牛にコーンベルトで生産されるとうもろこしなどの濃厚飼料を与えて肥育していた。

【加点ポイント】

- ① (飼料として) とうもろこし/大豆 →2点
- ② (肉牛の飼育地域として) コーンベルト/混合農業地域 →2点

問2(2) 9点

センターピボット灌漑の導入により、降水量の少ないロッキー山脈東麓の地域でも、とうもろこし栽培が盛んになり、さらにこのとうもろこしを飼料にして、フィードロットも立地したので、肉牛のと畜数は、従来よりも西側の降水量の少ない地域で増えた。一方、灌漑による地下水の過剰な汲み上げにより、地下水の枯渇が心配されている。

【加点ポイント】

- ① (と畜数上位州として) ロッキー山脈東麓(の州)/グレートプレーンズ(の州) }
/コロラド州/カンザス州/従来より西側の州 } →2点
- ② (①の自然環境として) 降水量が少ない/乾燥している →1点
- ③ (灌漑方法について) センターピボット (方式) →2点
- ④ (③により) とうもろこしを飼料とした →1点
- ⑤ (飼育方法として) フィードロット (肥育場) で飼育 →1点
- ⑥ (③の問題点として) 地下水の枯渇/地下水位の低下/オガララ帯水層の枯渇 →2点

問3(1) 各2点 B:① D:④

問3(2) 各2点 (あ):ボストン (い):シリコンプレーン

問3(3) 4点

ダラスには、全米有数のハブ空港が整備され、高付加価値製品の輸送に関して利便性が高い。ボストンには、大学の研究所が集中して立地しており、研究開発部門における優秀な人材が集まっている。

【加点ポイント】

- ① (ダラスについて) ハブ空港/空港 がある →1点
- ② (①により) 高付加価値製品/値段が高い製品 の輸送に適している →1点
- ③ ((あ)=ボストンについて) 大学/研究機関 が多く立地 →1点
- ④ (③により) 優秀な人材が多い/大学と共同研究(開発)ができる →1点

問4(1) 4点

メキシコとの国境に近く、ヒスパニックの人口割合が高い南西部と黒人の人口割合が高い南東部では一般的に老年人口の割合が低い。

【加点ポイント】

- ① (老年人口の割合が低い地域として) 南西部/メキシコ国境近く
/テキサス州/コロラド州/カンザス州 } →1点
- ② (①について) ヒスパニックが多い →1点
- ③ (老年人口の割合が低い地域として) 南東部/ジョージア州 →1点
- ④ (③について) 黒人が多い →1点

問4(2) 6点

白人の人口割合が高い北東部は少子高齢化が進行していることから、一方、温暖な気候のフロリダ州は移住を望む高齢富裕層の受け入れ地となっていることから老年人口の割合が高まっている。

【加点ポイント】

- ① (フロリダ州について) 高齢の富裕層が多い →2点
- ② (①の理由として) 温暖である/移住先として人気 →1点
- ③ (フロリダ州以外の老年人口の高い地域について)
北部/北東部/中西部に 多い →1点
- ④ (③について) 白人が多い/移民が少ない →1点
- ⑤ (③について) 少子高齢化/少子化/高齢化 が進行している →1点